

源泉かけ流し温泉と元板前オーナーの手料理を

屈斜路原野ユースゲストハウス

北海道・道東エリアの弟子屈町にあるユースゲストハウス。JR釧路本線「摩周駅」から、宿の送迎車(前日までに要連絡)で約20分。レンタカーを使えば、女満別空港から約1時間、釧路空港からは約1時間30分の道のりだ。屈斜路湖はもちろん、摩周湖や阿寒湖、釧路湿原などを日帰りで見学することができる。



割引クーポン配布中

〒088-3341 北海道川上郡弟子屈町字屈斜路原野443-1
電話:015-484-2609 URL:<https://www.gogogenya.com/>

Youth Hostel Pick up

ひがし北海道の大自然に身を預け 心洗われる「癒しの宿」

屈斜路原野ユースゲストハウス

自然の宝庫・屈斜路湖を望む原野に佇む ヨーロッパ風のユースゲストハウス

「ひがし北海道」と呼ばれる道東エリアの、ほぼ中央に位置する弟子屈(てしかが)町。東京23区を超える、約775kmという広大な面積のおよそ3分の2が、阿寒摩周国立公園に含まれている。日本最大のカルデラ湖である屈斜路(くっしゃろ)湖と、そこから流れ出て釧路湿原を形成する清流・釧路川、それらを取り囲むのは藻琴山(もことやま)などの外輪山だ。さらに、国内でも有数の透明度とされる摩周湖、今なお噴煙が立ち上る活火山・硫黄山(いおうざん:別称「アトサブリ」)など、起伏に富んだ町内の自然はとにかくスケールが大きい。銀世界の広がる長い冬を経て、若葉の萌える春、生物が躍動する夏、極彩色の木々

が一面を覆う秋と、いつ訪れても異なる表情を見せてくれる。今回訪れたのは、屈斜路湖にほど近い「屈斜路原野(げんや)ユースゲストハウス」。遠くからでも一目でわかる洗練されたデザインの建物は、札幌出身の建築デザイナー・荒木毅(あらかき・たけし)氏が手がけた。中心にそびえる塔の内部は吹き抜けて、1階のダイニングと2階の客室エリアをつなぐ広々とした空間を形作っている。中世ヨーロッパの教会堂をモチーフにしたその宿で私たちを迎えてくれたのは、オーナーの山本和之(やまもと・かずゆき)さん。そして、娘でサブマネージャーの目谷日和(めや・ひより)さんと、日和さんの夫でマネージャーの和輝(かずき)さんだ。北海道に魅了された山本さんが、この地でユースゲストハウスをオープンさせるまでの歩みや、目谷さん夫婦と運営する宿の特徴、おすすめの過ごし方などについてお話を伺った。

17歳、ユースホテルで体験した 「真夏の冒険」がすべての始まり

オーナーの山本さんは大阪府出身。初めて北の大地に足を踏み入れたのは、高校2年、17歳の夏休みだった。「中学の頃、ボーイスカウトを通して知り合った大学生に『ユースホテルに安く泊まって、北海道を旅した』と聞きました。北海道なんて外国くらい遠いイメージだったから『いつか自分もそういう旅行をしたい』と、ずっと思っていたんです」自転車を使って京都・舞鶴港へ向かい、フェリーで小樽へ。ユースホテルを渡り歩きながら函館や洞爺湖・支笏湖などを周遊した。そして、ひよんなことから1カ月間、積丹(しゃこたん)ユースホテルのヘルパーとして働くこととなる。



屈斜路カルデラの外輪山に囲まれた平原に建つ屈斜路原野ユースゲストハウス。サイロのように見える塔は吹き抜けて、客室のドアを開けるとラウンジを見下ろせる。

ユースホテルよりプライベート空間を重視したユースゲストハウスのカテゴリーに属する屈斜路原野ユースゲストハウス。ロフト付きのお部屋はファミリー利用にもピッタリ!



マネージャーの目谷和輝さん(左)とサブマネージャーの日和さん(右)ご夫妻。癒し担当の看板猫、チョコちゃん(左)とよもぎちゃん(右)も一緒にハイ、チーズ!



「道中で意気投合した同学年の自転車旅仲間と『ユースホテルを手伝ってみたいよね』という話になり、北海道に来て最初に泊まった積丹ユースホテルに電話したのがきっかけです。年上のお客さんから『仕事を辞めて旅をしてる』とか『秋になったらインドに行く』とか、高校生の自分には想像できない話を聞けてすごく視野が広がりましたね。爆発的に友達も増えて『友達100人ってこういうことなんだ』と実感しました(笑)」その非日常体験は山本さんに大きなインパクトを与え、翌年以降も夏になるとヘルパーとして積丹ユースホテルを訪れた。高校卒業後「北海道でユースホテルを経営したい」という思いが湧き上がり、まずは料理を身に付けようと、調理師学校を経て京都の料亭で修業。23歳で札幌に移住し、寿司店やホテルで技を磨きながら、夢への階段を一歩ずつ上がっていった。

7,000坪の土地に開いた念願の宿 30年の時を経て「2代目」が奮闘中

そして1993年、29歳になった山本さんは、7,000坪を数えるこの土地にめぐり合った。前出の建築デザイナー・荒木さんとは当時のパソコン通信でつながり、設計を依頼。約13mの高い天井が特徴の“デザイナーズゲストハウス”をオープンさせた。

「北海道に魅了されていたからこそ、スケールの大きな道東の自然の中で宿をやりたいかった。『宿に泊るときくらいはおいしいものを』と、料理を売りにして、妻と大阪から呼び寄せた両親の家族4人で始めました」

それから30年以上、多くの旅人たちを迎えてきたこの宿に今、若い2人が新しい風をもたらしている。高校卒業後、宿を手伝っていた娘の日和さんと、配せん人や料理人を経験して札幌で働いていた和輝さんが、2019年に結婚。「2代目」として奮闘中だ。「付き合った頃に宿の話聞いて『おもしろそうだな』と思っていたんです。深夜バスに乗ってここに遊びに来たり、手伝いをするようになって、結婚後はマネージャーに。自分がアイデアを出して作った料理に『おいしかったよ』という言葉もらえたり、お客さまが喜ぶ姿を見るのが楽しいですね」

そう微笑む和輝さんに、日和さんは大きな信頼を寄せているという。

「宿の仕事は父の天職。料理に関してはプロで、接客も得意です。夫も物怖じしない人だし、そこは父と共通しているなって思っています」



若いマネージャー夫婦を支える、前マネージャーでオーナーの山本和之さん。料亭やホテルで和食を基礎から学んだ山本さんの料理を自当てに通う常連客も多い。



「SNSに載せるために始めた」という山本さんの雲海の写真はプロも唖る腕前。ホームページやSNSで日々更新されるほか、年末には銀座で個展が開催される。

モダンな客室と天然温泉で疲れを癒し 絶品料理と数々の自然体験を楽しむ

モダンな内装で、どこかほっとする雰囲気のある屈斜路原野ユースゲストハウス。個室・ドミトリー双方を備える客室は、ロフトの付いた山小屋風の空間が広がり、大きな鏡の付いた洗面台がすべての部屋に設置されている。そしてお風呂は天然温泉かけ流しでいつでも入浴OK。血液の流れを良くするとされるナトリウム・カルシウム硫酸塩泉で、旅の疲れを癒そう。

「離島レベル」に暗くなるという夜には満天の星を仰ぎ見て、翌朝は早起きして「雲海ツアー」に参加するのがおすすめです。

「屈斜路湖に浮かぶ雲海は絶景。津別峠や美幌(びほろ)峠と、季節ごとの見え方に合わせたスポットにご案内します。最近では海外の方もツアー目当てにいらっしゃいますね」(山本さん)

そしてこの宿に来たなら、地場の食材を贅沢に使った料理を味わってほしい。ジビエなら、鹿肉のあぶり焼きにしゃぶしゃぶ、赤ワイン煮込み。シマエナガなどの野生動物をモチーフにしたパフェなど、日和さん特製のスイーツも絶品だ。ランチも対応可能なので、事前に相談してみよう。

取材の最後、宿の未来を担う2人がこう語ってくれた。「この宿を、皆さんにとっての癒しの場だと思ってほしいですね。都会の人ごみに疲れたら、屈斜路原野ユースゲストハウスに心を洗いに来てください」(和輝さん)

「天気も景色も移り変わっていくのが屈斜路湖の魅力。来るたびに新しい発見をして『エモい』気持ちになっていただきたいです」(日和さん)



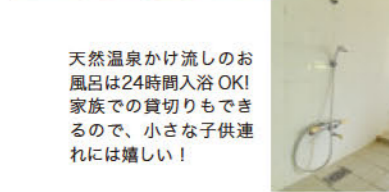
日和さんこだわりのパフェは「映え」にこだわった逸品！



臭みの少ない新鮮な鹿肉をしゃぶしゃぶで。料理自慢の同YHでも人気の逸品！



塔の窓から自然光が差し込むラウンジで語らいのひとときを。



天然温泉かけ流しのお風呂は24時間入浴OK! 家族での貸切りもできるので、小さな子供連れには嬉しい！

A 屈斜路湖



国内最大のカルデラ湖・屈斜路湖。水源の8割を占める清らかな湧水が、豊かな生態系を支える。絶景と自然を堪能できる「和琴半島自然探勝路」(約2.5km)の散策もおすすめだ。

弟子屈屈斜路湖
TEL:015-482-2200
(摩周湖観光協会)

B 川湯ビジターセンター



阿寒摩周国立公園摩周地域の自然や生物・歴史などを、多彩な展示や映像から学べる施設。カフェコーナーでは、町内で焙煎されたコーヒーを、アカエゾマツの森を眺めながら楽しめる。

弟子屈町川湯温泉2-2-6
TEL:015-483-4100

C 硫黄山 MOKMOKベース



活火山・アトサヌプリ(硫黄山)の麓にある観光拠点。噴煙を上げる硫黄山の雄姿を望む「MOKMOKシアター」や、硫黄山の歴史に触れる「硫黄山ミュージアム」など、見どころ満載だ。

弟子屈町川湯温泉
1丁目52-1
TEL:015-483-3511



弟子屈町ってこんなところ！

「弟子屈(てしかが)」の由来は「岩盤の上」という意味のアイヌ語。原生林が広がっていた弟子屈の開拓が始まったのは明治時代で、アトサヌプリ(硫黄山)の硫黄採掘が盛んに行われた。1897年、村の大半が当時の皇室の御料農地となり、農業で発展。1947年には町制施行により「弟子屈町」が発足し、現在は約6,500人が暮らす観光と酪農の町となっている。このページでは、屈斜路原野ユースゲストハウスからアクセスしやすい、町内のスポットを紹介する。

弟子屈町おすすめ SPOT

D 摩周湖カムイテラス



神秘的湖・摩周湖の多様な表情を体感できるスポット。透明度の高い水面に空の青が鮮やかに映る「摩周ブルー」が眼下に広がる、展望テラスからの大パノラマは圧巻だ。

弟子屈町摩周湖第一展望台
TEL:015-482-1530

E 渡辺体験牧場



摩周山麓で約120頭の乳牛を育てる、70ヘクタールの農場。エサやり、乳しぼりのほか、アイスクリーム・バターづくり、トラクターでの草原周遊など、さまざまな体験ができる。

弟子屈町原野646-4
TEL:015-482-5184

ガラス工房&スイーツcafe F grand-jete' (グランジュテ)



屈斜路湖のほとりにある工房。ガラスアクセサリーの製作・販売のほか、パティシエがつくる本格スイーツも提供している。サンキャッチャーなどの製作体験(要予約)も可能。

弟子屈町屈斜路470
TEL:080-5792-9455



抽選で **ペア宿泊券(1泊2日)1名様にプレゼント!**

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申し込みフォームから!

<http://www.jyh.or.jp/hmQ> 応募〆切:2024年12月31日

※当選者にはこの応募時に登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。
@jyh.or.jpからのメールが受信できるように設定をお願いいたします。



日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。
おとなはこどもに、
なれる場所。



Hostelling Magazine vol.38



Cover Interview
ガンバレレーヤ
挑戦できることがあるって、
幸せなこと！

P.02



Youth Hostel Pick up
屈斜路原野
ユースゲストハウス
ひがし北海道の大自然に身を預け
心洗われる「癒しの宿」

P.08



Hostelling Magazine
× 地球の歩き方
紅葉に彩られる
カナダ東部のフレンチタウン

P.12



鉄道写真家 櫻井 寛
「列車で行こう！」

P.16



松島むうの
晴れときどき旅びより

P.18



YH-GUIDE
ユースホステルガイド
福島県 / 栃木県 / 群馬県
千葉県 / 東京都 / 神奈川県
山梨県 / 新潟県 / 富山県
石川県 / 長野県

P.20



Hostelling Magazine vol.38
まとめてダウンロード

※本誌の情報は2024年9月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL (03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。